



# 平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月24日

上場会社名 太洋工業株式会社  
 コード番号 6663 URL <http://www.taiyo-xelcom.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 美則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 阪口 豊彦  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月1日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 073-431-6311

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成28年12月21日～平成29年3月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	958	20.1	59		59		45	
28年12月期第1四半期	1,200	0.5	35		12		21	

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 44百万円 ( %) 28年12月期第1四半期 71百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	7.76	
28年12月期第1四半期	3.61	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	5,373	3,197	59.0
28年12月期	5,321	3,259	60.8

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 3,168百万円 28年12月期 3,232百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		3.00	3.00
29年12月期					
29年12月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成28年12月21日～平成29年12月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,381	1.1	58		62		85		14.66
通期	5,173	3.9	62	9.6	55	41.2	14	74.1	2.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期1Q	5,850,000 株	28年12月期	5,850,000 株
29年12月期1Q	228 株	28年12月期	216 株
29年12月期1Q	5,849,783 株	28年12月期1Q	5,849,784 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
（継続企業の前提に関する注記） .....	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	8
（セグメント情報等） .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中で持ち直しの動きが続くなど緩やかな回復基調で推移した一方、米国や欧州の政策に関する不確実性の影響等から、海外情勢への懸念が高まり景気の先行きは不透明感が残りました。

当社グループが属する電子基板業界は、製品の高性能化が進みグローバル市場における存在感が高まっている中国のスマートフォンメーカー向けや、自動車の電装化を背景に車載機器向けの需要は堅調を維持いたしました。また、ヘッドマウントディスプレイなど新用途が立ち上がってきたウェアラブル機器や医療機器向けの市場では実用化が加速し、IoT (Internet of Things) に関する技術や製品の開発は業界の垣根を越えて進んでいることから、更なる活性化が見込まれております。

このような経済環境の下、鏡面研磨機事業及び検査システム事業において売上高が増加した一方、基板検査機事業、商社事業及び電子基板事業において売上高が減少いたしました。

これらの結果、連結売上高は958百万円（前年同四半期比20.1%減）と、前年同四半期連結累計期間に比べ241百万円の減収となりました。

損益については、鏡面研磨機事業における売上高増加や電子基板事業における売上原価率の低下の影響に伴う利益増加要因はあったものの、主として売上高減少に伴う影響により、営業損失59百万円（前年同四半期は35百万円の営業損失）、助成金収入が減少したことから、経常損失59百万円（同12百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失45百万円（同21百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(電子基板事業)

セットメーカーの一部であるディスプレイメーカー向けの売上は車載機器向け需要の堅調な推移により増加したものの、FPC試作の受注減によりカメラメーカー等その他のセットメーカー及びFPCメーカー向けの売上が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響はあったものの、外注加工の内製化等による費用圧縮を進めたことにより売上原価率が低下したことから、増益となりました。

その結果、売上高646百万円（前年同四半期比5.8%減）、セグメント利益69百万円（同7.0%増）となりました。

(基板検査機事業)

消耗品である検査治具の売上は増加したものの、海外向けの通電検査機及び外観検査機の受注獲得に苦戦したことに加えて、前年同四半期はFPCを対象とした通電検査機のまとまった受注があったことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少や製品開発体制の強化による売上高労務费率の上昇等により、損失となりました。

その結果、売上高53百万円（前年同四半期比75.5%減）、セグメント損失44百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント損失）となりました。

(検査システム事業)

既存顧客からのリピート製品やシステム更新の受注が獲得できたことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響はあったものの、利益率の低い製品の売上構成比が上昇したこと等から、損失となりました。

その結果、売上高26百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント損失7百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント利益）となりました。

(鏡面研磨機事業)

産業機械向けの売上や、機械の修理・メンテナンス等の売上が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により、増益となりました。

その結果、売上高105百万円（前年同四半期比139.6%増）、セグメント利益21百万円（同2,895.1%増）となりました。

(商社事業)

中小型ディスプレイ向けの液晶モジュール検査システムのまとまった受注があった前年同四半期の反動減により、売上高は減少いたしました。損益については、付加価値の高い商品の販売に注力したことにより売上総利益率は上昇したものの、売上高減少に伴う影響により、減益となりました。

その結果、売上高126百万円（前年同四半期比44.4%減）、セグメント利益7百万円（同11.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し、2,564百万円となりました。これは主として、社債の償還のため有価証券が減少した一方、現金及び預金並びにたな卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、2,809百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減価償却により減少したものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、1,057百万円となりました。これは主として、未払法人税等が減少した一方、夏季の賞与引当金を計上したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、1,118百万円となりました。これは主として、長期未払金が減少した一方、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ61百万円減少し、3,197百万円となりました。これは主として、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新規顧客開拓や休眠顧客の掘り起こしなど効率的に営業活動を推進し、FPCの極薄化など次世代技術力をアピールしていくことで、高い収益性が見込める高難度製品等の受注体制の充実・強化に注力し、前期と比較して売上高については増収を見込んでおります。また、生産性向上や原価低減など徹底したコストの最小化を図ることで、営業利益については増益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については減益を見込んでおります。

なお、平成29年12月期の業績予想については、平成29年1月30日発表の「平成28年12月期決算短信」からの変更はありません。今後、重要な変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,045,991	1,143,549
受取手形及び売掛金	862,636	870,673
有価証券	30,000	2,651
商品及び製品	130,719	126,671
仕掛品	253,810	287,862
原材料及び貯蔵品	68,428	70,741
その他	86,188	62,700
貸倒引当金	△756	△633
流動資産合計	2,477,018	2,564,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	442,836	435,960
機械装置及び運搬具(純額)	236,229	217,811
土地	1,342,939	1,342,939
その他(純額)	14,991	13,664
有形固定資産合計	2,036,997	2,010,376
無形固定資産		
その他	28,777	26,775
無形固定資産合計	28,777	26,775
投資その他の資産		
その他	785,429	779,092
貸倒引当金	△6,688	△6,688
投資その他の資産合計	778,740	772,403
固定資産合計	2,844,515	2,809,555
資産合計	5,321,533	5,373,772

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,194	153,760
短期借入金	554,287	544,471
未払法人税等	20,050	2,510
賞与引当金	—	32,697
製品保証引当金	1,740	1,449
その他	329,777	322,441
流動負債合計	1,046,049	1,057,329
固定負債		
長期借入金	312,179	428,765
長期末払金	149,733	129,796
役員退職慰労引当金	176,990	179,336
退職給付に係る負債	370,197	374,002
資産除去債務	7,030	7,048
固定負債合計	1,016,131	1,118,948
負債合計	2,062,181	2,176,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,255	793,255
資本剰余金	916,555	916,555
利益剰余金	1,418,579	1,355,613
自己株式	△43	△56
株主資本合計	3,128,345	3,065,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,824	80,810
為替換算調整勘定	19,754	22,445
その他の包括利益累計額合計	104,579	103,255
非支配株主持分	26,427	28,871
純資産合計	3,259,352	3,197,494
負債純資産合計	5,321,533	5,373,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月21日 至平成28年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月21日 至平成29年3月20日)
売上高	1,200,245	958,533
売上原価	931,822	729,972
売上総利益	268,423	228,560
販売費及び一般管理費	303,530	288,155
営業損失(△)	△35,107	△59,594
営業外収益		
受取利息	600	623
受取配当金	6	3
投資事業組合運用益	—	1,312
助成金収入	21,285	500
作業くず売却益	5,833	438
その他	2,458	2,160
営業外収益合計	30,184	5,038
営業外費用		
支払利息	3,842	2,791
債権売却損	1,321	1,067
為替差損	1,789	886
その他	738	15
営業外費用合計	7,691	4,760
経常損失(△)	△12,614	△59,316
特別損失		
減損損失	1,970	832
固定資産除却損	207	103
特別損失合計	2,177	936
税金等調整前四半期純損失(△)	△14,791	△60,253
法人税等	2,810	△15,154
四半期純損失(△)	△17,602	△45,098
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,505	318
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,107	△45,416



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月21日 至平成28年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月21日 至平成29年3月20日)
四半期純損失(△)	△17,602	△45,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,402	△4,014
為替換算調整勘定	△8,236	4,816
その他の包括利益合計	△53,639	801
四半期包括利益	△71,241	△44,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,083	△46,741
非支配株主に係る四半期包括利益	2,842	2,444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年12月21日 至 平成28年3月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	基板検査機 事業	検査シス テム事業	鏡面研磨機 事業	商社事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	686,575	218,966	22,977	44,004	227,722	1,200,245	—	1,200,245
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	36,746	30	2,380	—	39,156	△39,156	—
計	686,575	255,713	23,007	46,384	227,722	1,239,402	△39,156	1,200,245
セグメント利益 又は損失(△)	65,342	△1,448	50	726	8,887	73,557	△108,664	△35,107

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△108,664千円には、セグメント間取引消去等1,530千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,194千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年12月21日 至 平成29年3月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	基板検査機 事業	検査シス テム事業	鏡面研磨機 事業	商社事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	646,809	53,567	26,176	105,441	126,538	958,533	—	958,533
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	50,676	—	2,560	—	53,236	△53,236	—
計	646,809	104,243	26,176	108,001	126,538	1,011,770	△53,236	958,533
セグメント利益 又は損失(△)	69,894	△44,301	△7,644	21,746	7,889	47,585	△107,180	△59,594

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△107,180千円には、セグメント間取引消去等993千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108,174千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。